



みゆき

小松市立御幸中学校

学校だより

NO. 7

令和2年9月16日

文責：校長 河南光昭

「自分達の学校」をもっと、もっとよくしたい・・・

先日14日に、後期生徒会立会演説会並びに投票が行われました。今回の選挙では、会長候補2名、書記候補2名、会計候補3名の決選投票に加え、副会長、各専門委員長7名の信任投票という形で行われました。3つの役職で決選投票という形になるのは、ここ数年なかったことです。3年生たちは2年生の学年末に「3年生になったら・・・」ということで、その思いを語る中で、自分たちが御幸中学校を創っていくのだという決意を強くしました。その思いが、コロナ禍で十分に活動できなかった前期生徒会活動をさらに盛り上げ、行事自粛の中での「楽しい学校」創りに取り組んでいこうという気概を見せてくれました。その意欲は候補者全員に感じられました。



本校の生徒会選挙においては、投票の際にジュラルミンの投票箱を設置し、記載する場合にも隣が見えないようにシールドがあります。この機材は、小松市選挙管理委員会からお借りしたもので、通常市民の皆さんが投票時に使用するものを使っています。これは、生徒の皆さんがいずれ公民として託される大切な「1票」を重んじ、民主主義の原点である選挙という行動を体験してもらうためです。皆さんも18歳からは投票行動を行うこととなります。その予行演習として、体験できましたか。

結果的には選挙というものはシビアなものですから、たとえ1票差であったとしても当選候補がいれば、落選候補がいます。残念ながら落選してしまった候補たちにも、チャレンジしてくれた思いに感謝し、またエールを送りたいと思います。

また、幸いにして当選、信任を得て生徒会の代表となるリーダーたちには、自らの公約の実現を目指し、これから一生懸命頑張ってもらいたいと思いますし、また頑張ってくれるものと信じています。とりわけ、生徒会の顔となった生徒会長には、その堂々とした態度そのままに威風堂々として、活動の先頭に立って陣頭指揮を執ってもらいたいと思います。まずは来月の生徒会企画イベントの実現・成功に向け、これから生徒会執行部を中心に盛り上げていきましょう。

